



Theory of water environmental evolution

All in one Eco-Solution

環境負荷低減に必要なすべてのサービスを届ける

オペレーションシステム&メンテナンス

- 管理
- 運用
- 人材支援

24時間365日体制で設備を管理・運営。
遠方管理も行います。

● 管理・運営の実績は日本でも有数です。

地方公共団体の上下水道処理施設のみならず、民間工場の水処理施設や純水製造装置などを中心に各種施設の管理・運営を行っています。24時間365日体制で管理・運営を行っており、委託数は日本でも有数です。それぞれのお客様から確かな信頼をいただいています。



● 何も起こらない、起きないために。

トラブルが発生した場合、迅速に対応するのは当然です。しかし、本当に求められるのは予防保全。「何も起こらない」ための対策です。エステムグループではそうした「何も起きない状態」を維持していくべく、オンラインによる遠隔監視などのサポート体制を構築しています。



ソリューション&コンサルティング

- 調査・分析
- 計画的提案
- ISO認証取得支援

環境に関するあらゆる
調査・分析、支援を行います。

● 環境調査から分析、効果測定まで。

水質調査はもちろんのこと、漁港や漁村を対象とした環境調査から集落環境、森林植生、湖沼での調査、さらに土壌や騒音、振動調査まで、環境に関するあらゆる調査および分析を行います。また各種設備事業による効果測定も請け負い、環境アセスメントの一翼を担います。



● ISO認証取得を支援。

環境における国際規格として取得が当たり前のようになったISO14000シリーズ。その認証取得をサポートします。環境施設の日常的なメンテナンスを通じて各種の環境に関するデータや仕組み、技術に通じているため、短期間での取得が可能になります。



エンジニアリング

- 施設設計
- 施工
- 施工管理

数多くのプラント建設を手がけてきた
経験とノウハウを活かします。

● 調査から試運転までのトータルエンジニアリング。

水処理施設を中心に、数多くの設計・施工を全国で手がけています。水質の調査から仕様の決定、設計、施工、施工管理、試運転までのトータルエンジニアリングです。もちろん防音工事や悪臭対策、土壌改良など、ご要望に合わせた各種の環境対策工事も行います。



● 現場をよく知る強み。

施設の処理能力が高い、最新技術が取り入れられている…。これだけでは本当に良い施設とは言えません。「ご担当者が管理しやすい施設であること」これこそが本当に良い施設であると考えます。管理する側の立場になって考え、設計する、日頃から現場を直に感じているからこそできることです。



ソフトビジネス

- 排水処理講座
- 食育ビジネス
- 環境フォーラム

環境に携わり続ける会社だからこそできる新たな情報発信。

自治体や工場を所有する企業のご担当者に対して、排水処理に関する技術や法改正の動向などを解説する「排水処理講座」を実施。また、企業理念の実践の一環として、1991年より毎年6月に環境フォーラムを開催しています。これまで「水処理ビジネス」「生物多様性」「再生可能エネルギー」など、様々なテーマのもとその分野でご活躍の方を講師にお招きしています。



動きだそう、
勇気を持って。



自分の頭で考える。それが一番面白い。

エステムには「水をきれいにしたい!」という使命感に溢れた人が集まってくれます。有り難いことです。でも、そういうミッションを抱えた人には得てして“いい人”が多い(笑)。いい人はどうしても自分を犠牲にしてしまいがちです。「環境のために、社会のために」と気負ってしまう。よく、社員みんなに言うんです。水処理の仕事は確かに3Kだけれど、理不尽なことや、危険な状態に無理をして我慢し続けることに意味はないから止めなさい、と。それよりも、改善策を考えて、人を巻き込んで交渉して、働きやすい環境を自ら創る方が賢いし、面白いはずですよ。

私たちの仕事は、奉仕活動でも単なる社会貢献でもありません。ビジネスです。大きな目的は水をきれいにし「続ける」こと。サステナブルに、利益を生み出し続けられる商売にしなければならない。ただ「汚い水をきれいにすればいい」という簡単な話ではないのです。

水処理は、必ず誰かがやらなければならない仕事です。困っているお客様の先には、「地球」という大きな相手のことを思います。とても意義の深い仕事です。だからこそ、継続的に価値を生み出せるプロ集団でありましょう。一人ひとりのアタマで、もっと知恵を絞って考えましょう。そして、このパンフレットに登場する先輩たちのように、自ら動き出し、勇気をもって。そんな私たちの仲間となってくれる人に出会いたいと思っています。

Profile

代表取締役社長 塩崎 敦子

大学時代に読んだ論文の「微生物を使った排水処理」というキーワードに興味を抱く。アフリカで井戸を掘るといふ夢があったが「素人の自分が行くよりはるかに技術だ」と思い直し、エステムに。社内に社長を慕う若手は多い。